

## 令和7年度「環境に関するアンケート」集計結果

### 【実施概要】

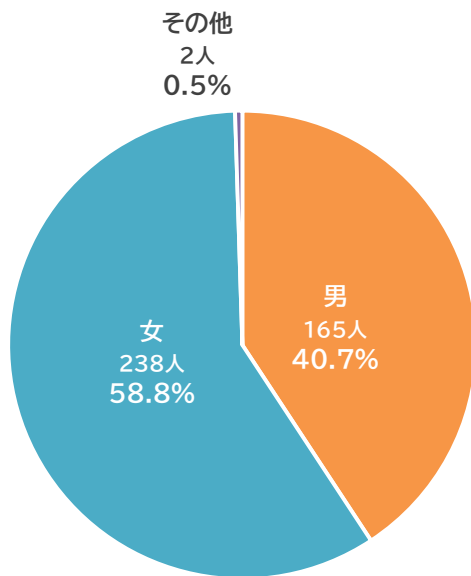
日時・対象：①令和7年9月10日(水)～9月24日(水) 岐阜市市政モニター

②令和7年11月8日(土) 10:00～15:00 みんなの森 ぎふメディアコスモス来館者

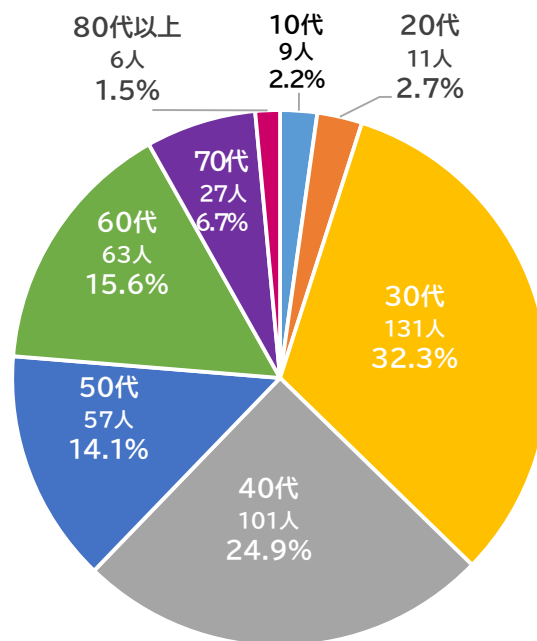
回答者数 461人(①185人、②276人)、うち市内在住者 405人

### 【集計結果】※市内在住者のみ

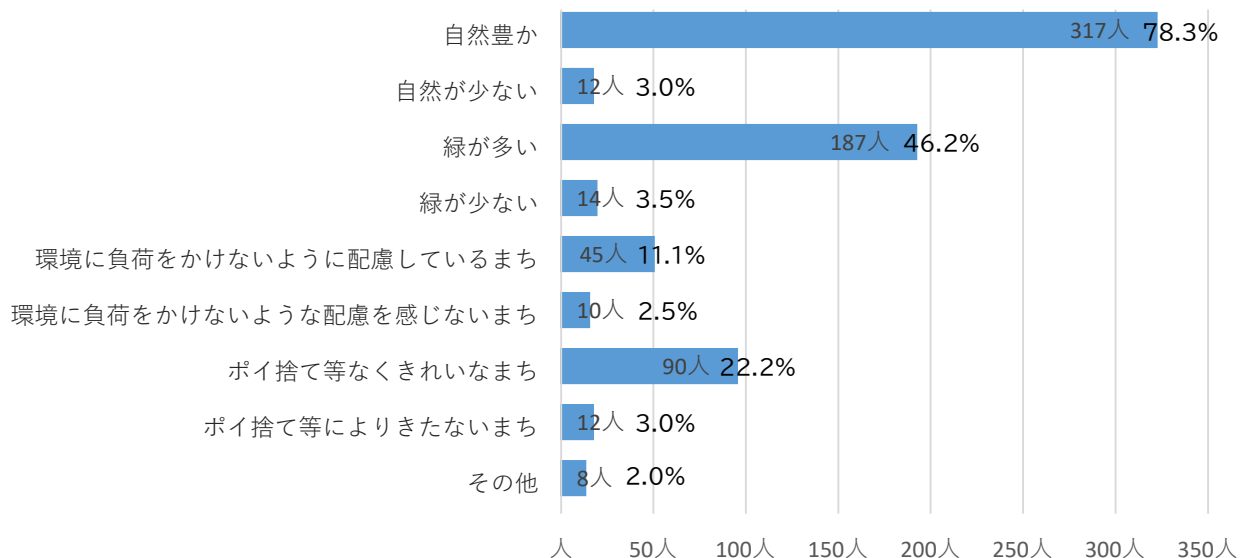
#### ・性別



#### ・年齢



### (1) 岐阜市の環境について、どんなイメージをお持ちですか？(いくつでも)



#### 【その他】

地域による差が大きい、川が綺麗、車が多い、山や田畑があるところもある

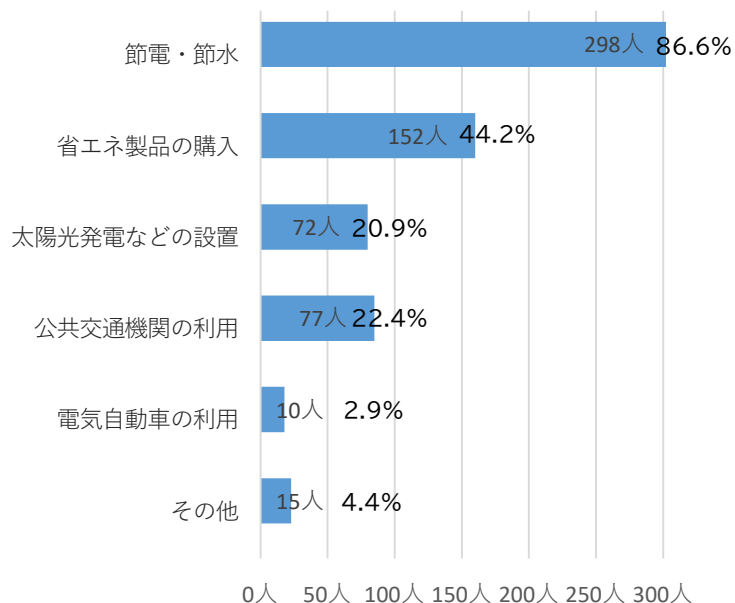
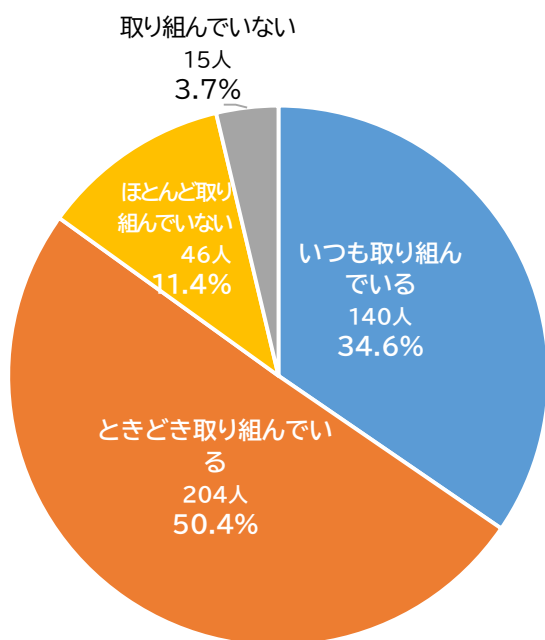
(回答者数  
405人)

## (2) 身近な生活の中で、地球温暖化対策に役立つ行動

(例:節電・節水)に取り組んでいますか。

行った取り組みを教えてください。(全て)

※いつも又はときどき取り組んでいる方が対象



### 【その他】

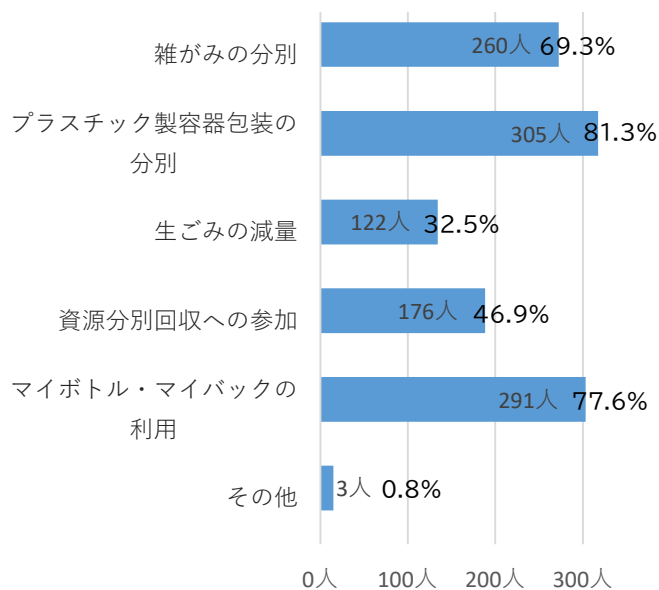
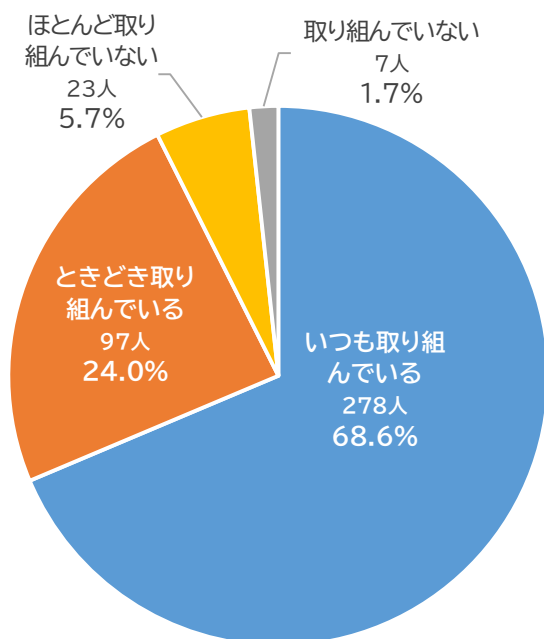
自転車の利用、ごみの分別、リサイクル商品の購入、太陽熱温水器の利用、プラ製品は極力買わない

(回答者数  
344人)

## (3) 資源物のリサイクルなど、ごみ減量に取り組んでいますか。

行った取り組みを教えてください。(全て)

※いつも又はときどき取り組んでいる方が対象

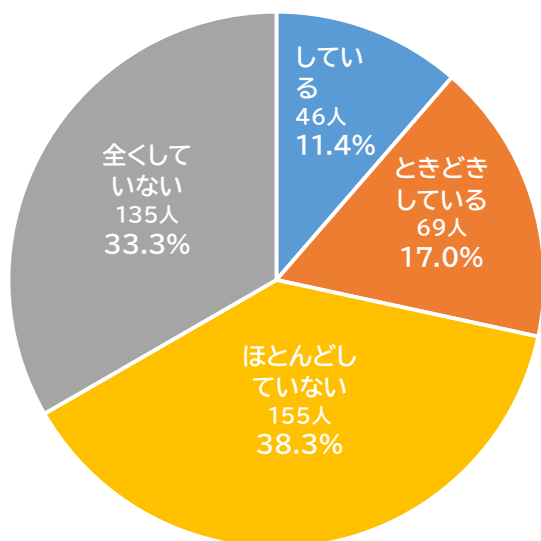


### 【その他】

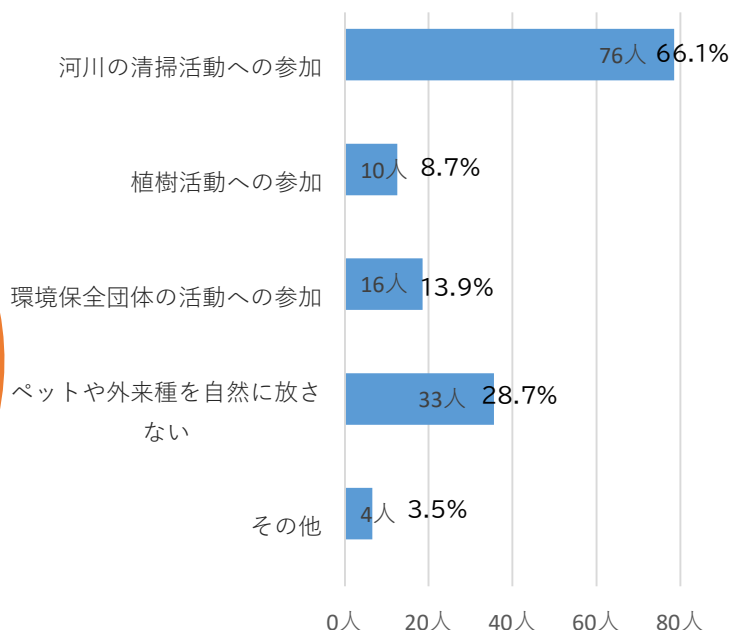
必要以上に物を買わない、まだ使えるが不要なものはリサイクルショップ等に出す

(回答者数  
375人)

(4) 河川の清掃や生物の保護など、自然を守る取り組みをしていますか。



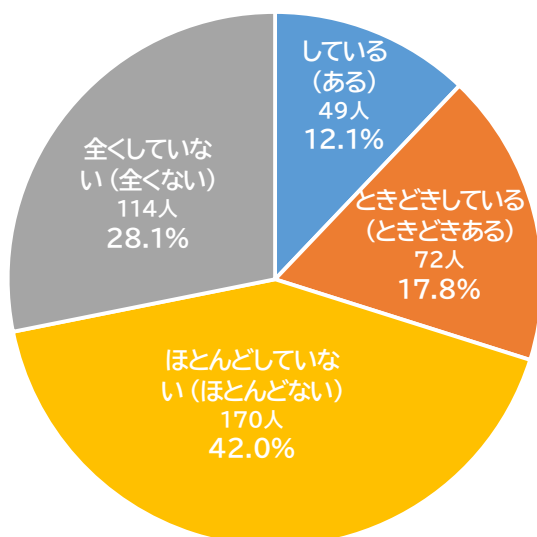
行った取り組みを教えてください。(全て)  
※いつも又はときどき取り組んでいる方が対象



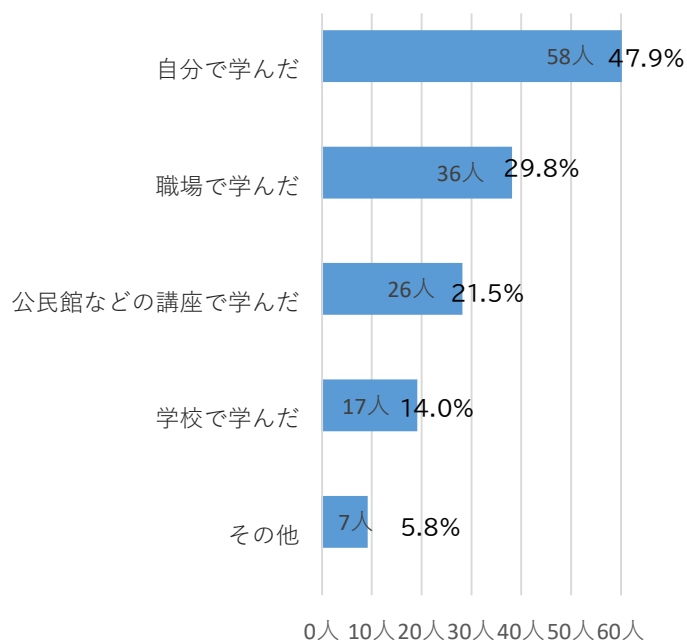
【その他】  
地域の清掃活動に参加、行った先での美化活動

(回答者数  
115人)

(5) 環境学習をしていますか。  
(環境について学ぶ機会がありますか。)



どこで環境学習をしましたか。(全て)  
※している又はときどきしている方が対象



【その他】  
イベントで、図書館で、インターネットで

(回答者数  
121人)

(6) 岐阜市の取り組みに対する思いなど、自由にお書きください。(一部抜粋)

◆脱炭素化の促進に関すること

- ・小中学校で、SDGs を含めた岐阜市の環境問題の活動(授業)があるのは良い。学校で習ったことを家に持ち帰り、家族で話し合うきっかけになっている。
- ・頻繁に起きる自然災害を見ると、地球環境の事を自分のことのように感じる。一人一人の取り組みが大きな力になると思う。学校教育の中で取り入れてもらいたい。
- ・従前より太陽光発電の導入にあたっては、補助金制度を取り入れていると思うが、その成果をアピールして欲しい。
- ・太陽光パネルが増えていることがとても心配。設置時の環境破壊や撤去後の処理方法が未定であることや、その後に農地は安全に再利用できるのかなど気になる。

◆ごみの減量、資源分別、都市美化に関すること

- ・プラスチックの分別やビン缶の分別等は、浸透していると思う。
- ・缶・ビン・ペットボトルの回収は、1 ヶ月に 1 回でいいと思う。
- ・プラスチック製容器包装回収日に向けて、汚れた容器を洗って出している。その排水や拭いた紙は本当に環境の為になるのか。
- ・燃えるごみで捨てるしかない陶器のリサイクル。小型家電のリサイクルは良いが、それに付属する電源コード類にも金属が含まれているので、一緒にリサイクルしたい。
- ・ペットボトルやプラスチックの回収の循環がわかるような広報をしてほしい。

◆自然環境の保全に関すること

- ・河川敷のポイ捨てが目立つ。ポイ捨てをさせないよう対策をとってほしい。ごみ拾いや資源分別に参加した人にポイント付与するような取組みはどうか。
- ・岐阜市には、河川環境を守る意識(長良川だけではない)も持って頂きたい。
- ・河川のごみ拾いやその他環境に関するイベント等の実施日程など、事前にチラシなどで周知すれば参加者も増えるのでは。
- ・子どもや孫たちが、岐阜に来てくれた時に、町と比べて、自然豊かで住みやすいと言ってくれることがうれしい。

◆環境教育に関すること

- ・コンポストの話を小学校で子供が聞いてきたが、話と紙面だけでは良さが子供に伝わらないと思うので学校で作ってみるような体験があると、各家庭でも環境について考えるようになるのではないか。
- ・環境についての取り組みは子供を通して知ることが多く、大人だけの生活だとなかなか知る機会がない。

◆意識啓発、広報に関すること

- ・何をもちて環境への取り組みとするのか、何を目指しているのかが壮大すぎて、結局何もできていない。身近なことに多くの思いが集約される未来像を明示できれば、目標となって進むことができるかもしれない。
- ・新たな取り組みと維持管理を両輪として、たとえば町内会など地域住民が気軽に参加できる日々の小さな活動が大きな力に繋がると感じる。地域掲示板の無料設置で情報の共有、認知拡大を望む。
- ・食品ロス、地産地消、プラントベースなど、毎日の生活の中で取り組む活動についての具体的啓発活動が

少ないと思う。

- ・今後、環境への取り組み・環境学習に関するセミナーなどが開催される際には参加して、個人として何かできることを探してみたい。
- ・ごみ出しのルールのさらなる啓発が必要。